

# 新日本保険新聞

(損保版)

第1～4月曜日発行  
発行所 新日本保険新聞社  
大阪市西区堀本町1丁目5-15  
(郵便番号550-0004)  
電話 (06) 6225-0550 (代表)  
FAX (06) 6225-0551 (専用)  
購読料 1か月2160円  
(消費税、送料込み)

©新日本保険新聞社 2015

シンニチ保険Web

www.shinnihon-ins.co.jp

購読者専用サイトのパスワード

triangle

(2015年6月30日まで)

※「1月」と「7月」に変更します。

## 仙台で「国連防災世界会議」開催

損保協会 日本代協

### 地震保険の普及と防災の必要性呼びかけ



櫻田 損保協会会長

国際的な防災協力を話し合う「国連防災世界会議」が宮城県仙台市で3月14日から18日まで開かれ、損保協会や日本代協でも14日と15日に地震保険の普及や防災の必要性を呼びかける各種イベントを実施した。同会議は第1回目が1994年に横浜で、第2回会議が2005年に神戸で行われ、今回が3回目の開催となる。

経 験・教 訓 伝 へ る 使 命  
地 震 に 住 宅 対 策 が 大 事

会議初日の14日には、損保協会が「大震災の後」に…と題した地震保険フォーラムを開催。損保協会専務理事の堀政良氏の主催者挨拶を経て実施されたプログラムでは、モデルで国連WFP日本大使の知花くららさんとNHK解説委員の山崎登氏のトークセッション、大学生による復興ボランティア活動の報告、山崎氏と損保協会専務理事の深田一政氏、神戸大学名誉教授で兵庫県立大学防災教育センター長の室崎益輝氏の3氏によるパネルディスカッションが行われた。



知花さん(右)と山崎氏

プログラムに先立ち挨拶した堀氏は「震災で学んだ経験と教訓を多くの方々に伝えていくことが、我々の使命だと考えている」と述べると、フォーラムの趣旨を説明した。

トークセッションでは、公私にわたり被災地支援活動を行っている知花さんが、被災地支援のあり方について実体験をもとに紹介。支援に取り組む際はとりわけ、相手の立場になって考えることが大事だとし、「被災地支援はこうあるべき、こうでなければいけない」というものではない。被災地の方々が何を欲しているかの声をくみあげることが大事で、相手が女性であれば女性の視点で防犯のあり方や地震保険の必要性などについて議論した。地震対策で最も大切なのは住宅対策だとして山崎氏は「壊れない住宅を作るとともに壊れてしまった住宅を早く立て直すことが重要になる」と述べ、人々にとっての住居の必要性を強調した。室崎氏もこれに同調し「津波で命を失った人が多くいるのと同じく、問題はなっているのは、関連死の多さだ。特に、仮住まいの劣悪さは問題だ。人にとって最も大事な住宅を、一日も早く立て直すための対策や備えをする必要がある」と指摘した。

この発言を受けた深田氏は、生活再建の手段の一つである地震保険の必要性に言及。「地震保険ですべてを支えることはできないが、経済的な負担を軽減することはできる」と述べ、地震保険の加入を会場に呼びかけた。



チラシを配布する折橋宮城県代協会長

国連防災世界会議の開催にあわせ、宮城県代協では3月15日の午前中に、仙台駅前で地震保険の普及啓発活動を実施。同代協の折橋久昭会長や呼びかけた。チラシ配布を精力的にこなした折橋会長は「もともと宮城県の地震保険加入率や付帯率は全国平均よりも高い水準だが、震災後は一層、県民の地震保険への関心が高まっていることを感じ

る。今後も活動を続け、加入率が一層高まるよう取り組んでいきたい」と話した。なお、今回は過

去に大規模震災があった地域の新潟県代協と兵庫県代協でも、各地で同様の取り組みを実施した。

小学生ほっさい、探検隊マップ

15日午後からは、損保協会主催の「第11回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」の表彰式が開かれた。ぼうさい探検隊は、子どもたちが楽しんで、



岡部 日本代協会長から代表児童に表彰状

優 秀 9 作 品 を 表 彰

しみながら町を探検し、町にある防災等の施設や設備を発見してマップにまとめる実践的教育プログラム。毎年開かれるマップコンクールでは、その年に全国で作成されたマップを募り、特に優秀だった作品を表彰する。今コンクールには、全国の511の小学校や子ども会などの団体から過去最多となる2267作品が寄せられ、優秀9作品が表彰された。

今コンクールでは受賞各賞のうち、気象庁長官賞とキッスリスアドバタイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)を新設。キッスリスアドバタイザー賞には千葉県船橋市のガールスカウト千葉県第3団ジュニア部門の作品が受賞した。表彰式では日本代協の岡部繁樹会長から同団体の代表児童に表彰状が贈られた。児童は皆で作ったマップが、新たにできた賞に選ばれてうれい」と話した。

コンクールで挨拶した損保協会の櫻田謙悟会長は「ぼうさい探検隊のような、子どもを主役とする防災教育が、地域のための防災教育にもなっていくと私は信じている」と述べた。